

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 3月 25日公開
イギリステロ、神に背を向けるヨーロッパ、ロシア、中東

エルサレムよりシャローム。アミールです。皆さんからこちらが見えているでしょうか？インターネット接続があまりよくありませんが、出来る限り頑張ってみましょう。まずは、お祈りから始めて、それからお伝えすべき事をお話しします。様々な事がおこっています。今夜はエルサレム旧市街からお伝えしています。後ろに見えるのは、エルサレムの壁です。皆さんにも景色をご覧いただけるように、出来る限り屋外でライブをお伝えしますが、数分試してみても、インターネット接続が上手くいかなければ、室内に移動します。

お父様、みことばに感謝します。

あなたの子どもたちが、あなたの御言葉を理解できますように。聖霊様、これから私たちが中東で起こっていること、特にここイスラエルで起こっている事柄を見ていく中で、あなたが私たちの目を開き、御言葉が理解できるようにお導きください。お父様、贖いが近づいている今、私たちが互いに励まし合えるように助けてください。あなたに感謝し、あなたを祝福し、イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

アーメン！さて、Facebook ライブへようこそ。私は今、ホテルの部屋の外よりお伝えしています。後ろにはエルサレム旧市街の壁が見えています。今夜もお伝えすることがたくさんありますが、まず初めに、私の友であり、役員でもあるゲイル・フランク兄のためにお祈りくださった方々にお礼を申し上げます。ゲイルは心臓発作を起こして、バイパス手術の後、今は退院して療養中です。引き続きお祈りいただければと思います。ずいぶん回復していますが、彼にはまだまだ長生きして、私たちと共に働いてほしいと願っていますから。ゲイルはこのミニストーリーに初めから関わっている Behold Israel 創始者のひとりです。皆さんのお祈りに心から感謝します。

まずは、数日前（2017年3月22日）にイギリスのロンドンで起こったテロ攻撃についてです（書記注：英国会議事堂周辺で、男が通行人をはねるなどし、5人死亡、50人以上負傷、後にISISが事実上の犯行声明発表）。興味深いのが、イスラムテロがイギリス国会周辺の混雑する場所を選んで犯行を行った、ということです。なぜ、このような事を言うかといえば、これは偶然ではなく、同じような事がイスラムの集会でも行われているからです。彼らはここ数年、このような特定の場所を選んで、様々な事をしてきました。事実、この場所では何千人ものイスラム教徒の集会がたびたび行われています。そのスローガンはもちろん「愛」「人権」「自由」「クオリティ」といったものですが、現実にはそこで「アッラーアクバル（アッラーは偉大なり）」と叫ぶ声が聞かれ、この場所に民主主義などというものは、全く見られないのです。なぜ彼らがこの場所を選ぶのか、なぜテロリストがここを選ぶのか、——その理由は、——ちなみにイスラム国がこのテロに関して犯行声明を発表しました。つまり犯人はISISの実行犯だったのです。これによってイスラムたちがイギリス人に伝えているのは、

「俺たちはここにいる」

「俺たちは社会全体を変えるという野望を抱いている」

「この社会が俺たちを変えるのではなく、俺たちがこの社会を変えるのだ」

「俺たちは国会の建物内にも入り込んでいる」

すでにロンドン市長はイスラム教徒です。ですから、イスラム人口が増大して、いずれ、国会議員内のイスラムが拡大し、内側から変えられることになるでしょう。繰り返しますが、ロンドンの中心、特に議会周辺で大きなイベントが行われるのは、公然たる挑戦なのです。その中のいくつかは、アメリカやイギリスに敵対してのもので、彼らがシリアやイラクのイスラム国に対して行っていることに敵対してのものなのです。時にはスンニ派の集会であったり、またある時には、シーア派の集会であったりします。しかし、どちらにしても、イスラム過激派住民がイギリスのカラーを変えようとしているのです。ちなみに、イギリス人が Brexit (イギリスの EU 脱退) に国民投票を行った一つの理由は、まさにコントロール不能の移民の波が、引き返すことのできない所にまで打撃を与えることに対する恐怖です。そしてイギリスの EU 脱退が起こり、すでにイギリス国内にいる者たちが事を起こそうとしているのです。イスラム教徒はどれくらいいるのかというと、イギリスの内政部が 2016 年 1 月に出版した物によると、314 万人のイスラム教徒がイギリス国内に存在するとのこと。2016 年 1 月の時点でこれなら、現在はさらに増大しているでしょう。また、これらは合法移民の数ですから、実際の数はこの 2 倍と見られています。つまり 600 万人以上、人口のほぼ 10% です。フランスでは 15% 以下、スウェーデンでは 10% 以上で、数はどんどん増え続けています。彼らはそこに留まる、と実に明確に宣言していますし、2018 年の終わりには、人口の 12% に達するでしょう。現在、イギリスには 400 軒以上のモスクが存在しています。そして、事態は拡大しています。第一、彼らがモスクを建てるとするのは、「我々はここから動かない」と言っているのと同じで、それは変わりません。ところで、私は一般的なイスラム教徒に対しては何ら敵対していませんよ。ただ、自分達のものではない国を乗っ取ろうとする彼らの思考に、私は敵対するのです。それが問題なのです。そして、イギリスはこういった類の過激派の標的の一つなのです。

イスラム国と、その他のテロ組織との違いの一つは、イスラム国は「国」を始めたことです。

「我々は国が出来るまで待ったりしない。まず国を創って、そして拡大させるのだ」

アルカイダやその他は、

「一つ一つ国を占領していき、最終的に一つの巨大イスラム国を創ろう」と言う考えです。

イスラエルのシークレットサービスは、イギリスと西ヨーロッパから遠ざかるようにと、イスラエル人に警告しました。特に、これから始まる過ぎ越しの祭りの週は人混みを避けるようにと。来週からの過ぎ越しの祭りやイースターにかけてです。彼らは意味もなくこんなことはしません。春休みにかけて人混みを襲うという、大きな攻撃に関する深刻な警告が発せられているのです。すでに我々に分かっているのは、これらの計画のうちいくつかは失敗に終わったのと、引き続き、まだまだ計画されているということです。イスラエルが全員に警告していることの一つは、「汚染爆弾」(dirty bomb) と呼ばれるものによる大きな危険があるということです。汚染爆弾とは、化学的または生物的な要素を含むものの事で、信じがたいかもしれませんが、最近のシリアやイラクでの ISIS の敗北で、技術者の多くがヨーロッパに戻っているのです。彼らはヨーロッパのパスポートを所持し、ポケットの中に「汚染爆弾」の一部となる化学物質や生物物質を入れています。これを言ってしまうと良いのかどうか分かりませんが、事実、警告は既に発見されたことを基に発せられているのです。これに関して複雑にするつもりはありませんが、ただ、西ヨーロッパとイギリスでは、これから数週間くれぐれもご注意ください。実際、ヨーロッパに関して一

つ皆さんにお伝えしておきたいのは、西ヨーロッパのいくつかの国々では、過激イスラムテロと、過激派イスラムが広がるのを食い止めようと、右派が他の宗教の自由を放棄しようとしています。過激派イスラムと効果的に戦うためにです。これらリベラル諸国の最高裁は、ある特定の宗教に対してのみ規制することは認めていません。例えば、フランス大統領選の候補者マリーヌ・ルペンは今人気のある政治家の一人ですが、

「最高裁は、例えばイスラム教の女性がブルカ（ヒジャブ）を被ることを禁じるようなことは認めませんから、私はユダヤ教のヤムカを含めて、全ての宗教的なシンボルを禁止します」

と述べています。当然、クリスチャンのあらゆる要素も含まれます。2017年、ヨーロッパではクリスチャンが行うことは全て、イスラム教徒の反感を買うのです。分かりますか？イスラム教徒は自分達の国を出て、西ヨーロッパに進出して、そして西ヨーロッパのクリスチャン的な性質に反感を覚えているのです。

ここでベルリン在住のステファニーさんからいただいたメールをご紹介します。

「こんにちは、アミールさん。2017年の3月からあなたのアップデートを拝見しています。今日はあなたがお話しされていた『ヨーロッパが全ての宗教と戦っている』件について事実であることをお話ししたいと思います。私は、今年1月よりベルリンの学校で教師をしていますが、移民家庭の生徒がかなりの確率で在籍しています。彼らは私がつけている十字架のネックレスを、『身の安全のために』外すようにと要求してきます。それだけではありません。私が教えている英語のクラスの、ある特定の生徒集団からの屈辱に耐えています。彼らはたいていイスラム教徒で、ヨーロッパのものは全て拒絶するようにと家庭で教育されているのです。そこには言語の授業も含まれます。彼らがここに住んでいようと、同じです。毎日が屈辱との戦いで、慎重に自分の信仰に立たなければなりません。これは、低年齢の子どもからすでに始まっています。あなたが伝えておられることが事実であることをお知らせします。いつも私たちが主に近づけるようにアップデートしてくださり、ありがとうございます。」

これはヨーロッパがどのようになりつつあるのかの、事実確認です。なぜこれを伝えるのかというと、長年お伝えしていることですが、移民の波と戦ううちに、ヨーロッパは神を排除し、キリストを排除し、さらにはユダヤ教や旧約聖書にまつわる全てのものを排除しています。ヨーロッパは過激派イスラムと戦う中で、あらゆる聖書的なもの、神のものを排除しました。だから、エゼキエル戦争の後、戦争が終息した時に、ヨーロッパは平和をもたらそうとするのです。それはクリスチャンではなく、ユダヤ教の人物でもなく、全く神を持たない人物が登場して、新しい宗教をもたらします。大切なのは神ではない。「良いことを行い、良いことを言えば全て良し。」そして、仲間に入りたい者は誰でも入れ、やがては、「正式」な世界宗教となるのです。ちなみに、それはすでに起こり始めています。「世界統一宗教のおこり」(DIVINE US で日本語字幕の視聴可能です)をご覧ください。バチカンの先鋒としての動きは、現在既に見られます。

「イエスを信じる必要はない」

「『山上の垂訓』に従って、良い人でさえあればそれで良い」

といってもそれは、キリストのものとしてではなく、キリストについてでもなく、キリストにおいてでもない、勝手な解釈をされたものです。とんでもないことです。

それから、お伝えしたいのが、シリア前線に関するとても気になる情報です。皆さんもご存知の通り、イスラエルがシリアの中心を攻撃していることは、これまでもお伝えしてきました。ちょうど一週間前、4機のF-15が発動し、パルミラを攻撃しました。また、シリアがSA5 ロケットを2機発射したことも分かっています。恐らく皆さんがご存じないのは、先週、ロシアとの間に問題が生じたということ。通常、我々が攻撃するのは、ヒズボラと、ヒズボラが関わる武器——イランがヒズボラに送っている武器全般です。我々はあそこでの戦争には関わりません。ただ、イランとトルコ、ヒズボラであれ、ハマスであれ、彼らが武装しようとしているものに集中して目を向けています。しかし、面白いことに、前回のパルミラ付近での攻撃が非常にロシアの気に障ったようで、なぜかと言うと、ロシアはパルミラをISISから解放しているからです。そしてロシアは現地に兵士を送り込んでいるのです。実際、何があったかという、どうもロシアの本部付近を我々が攻撃したようで、それはあの地域のロシアの空爆を采配している、同じ本部です。即座にシリアは、なぜロシアは何もしないのかと言い、ロシアは自分たちが弱く見られないようにするため、すぐに先週と今週の2度、在モスクワのイスラエル大使と大使館付軍武官をはるばるロシアの外務省に呼び出しました。そこで彼らは2人の次官に会いました。私もこれは知りませんでした。先ほど知ったばかりですが、ロシアの外務省には11人の次官がいるそうです。ですから、彼らはその内の中東担当者2人と面会しましたが、その面会での内容は一切公表されませんでした。私は、これには意図があり、誰にも恥をかかせないためだろうと思います。シリアには、「ロシアがイスラエルを叱責した!」と言わせ、しかし私たちにはこれからも必要だと思えば、実行することを認めています。もちろん、プーチンとネタニヤフの間で、電話のやり取りもありません。

皆さん、理解しておくべきは、現在気がかりなことが起こっているということです。ロシアが中東の主である中で、イランはロシアが問題であるとは見ておらず、ロシアが問題の解決策であると見ているのです。これが、イスラエルの最大の不安です。イランが現在行っているのは、シリアからレバノンへ入り、ヒズボラに提供されるあらゆる動きを、我々が探知していることは、彼らも理解しています。ヒズボラが既に所有している長距離ミサイルと共存する方法は、我々も何とか習得しました。しかし、それが「臨界量」に達するまで、さらに蓄積されては、我々は生存できないのです。それはやがて我々に向けられ、我々は修復不可能なまでに破壊されます。ですから、イスラエルはシリア産であれ、北朝鮮産であれ、イランを通過して密輸される長距離ミサイルは全て、確実に攻撃しているのです。そういうわけでイランは、イスラエルが空爆で行っていることを見ており、今は二つの新しいことが行われているのを発見しました。

- ① イランはヒズボラがレバノンの地下トンネルでロケットを組み立てるのを援助しています。
- ② イランは貨物船からロケットを降ろすことが可能なタルスス（トルコ中南部）の港に、ロケットの組み立て工場を建設中です。そこに駐留中のロシア海軍の保護下で、ロシアのデッキにまで届く物を、ロシア海軍基地の隣に建てています。彼らはイスラエルがこの海軍基地を攻撃しないことを知っているのです。

皆さん、行間を読んでいますか？行間を読まなければいけませんよ。つまり、イスラエルは「長距離ミサイルが臨界量に達するなら、我々は生きていけない。だから何としてでもそれを阻止する」と言っているのです。これらのロケットを破壊する途中で、我々がロシアの標的を破壊する可能性は極めて高く、我々

がロシアと対立する可能性は非常に高いのです。

皆さん、はっきりと言っておきます。私が言うよりも、新聞よりも、どんな軍事作戦解析者よりも、聖書ははるかに正確なのです。ロシュ、メシェク、トバル、大首長であるマゴグの地のゴグがイスラエルに攻めて来ると聖書が伝えています。それも、彼と共にペルシャ、イランではなくロシアが攻めて来るといふなら、何かが起こるのでしょう。それも近いうちに、です。物事が速い速度でエスカレートしていますから。何かが起こり、それによってロシアが「もうそれまでだ！攻め込もう！」と言うのです。イスラエルが彼らの組織を攻撃しているところを発見するか、もしくは彼らの兵士や彼らの基地を攻撃するのか、もしくはこの辺りにある彼らの利益のためか。したがって、あちらでは物凄い緊張感が高まっているのです。

興味深いのは、アメリカの政治組織で起こっていることを見ていますが、トランプ政権が現在、ロシアとのつながりに関して事細かに FBI や CIA の取り調べを受けています。明らかに今の時代、これらの事のために、トランプは中東においてロシアと手を組むことを許されないのです。アメリカは、今起こっている全ての馬鹿げたことのためにすっかり麻痺していて、その間にロシアはやりたい放題の事をしていきます。これは悪いニュースです。ということで、ロシアが文字通り我々を待ち構えていることを知った上で、イランはかき混ぜています。数日前、イスラエルはガザで、トルコの慈善援助組織に勤めるパレスチナ人を逮捕しました。彼はイスラエルの衛星地図、衛星写真を受け取るためにトルコに行く途中だったようです。それをハマスに手渡して、彼らがさらに精密なロケットを造るためです。皆さん、彼は政府、軍の公式情報を受け取るために、トルコのアンカラに向かっていたのです。イランが北のヒズボラを補強している間に、トルコは腕を伸ばして、南でハマスを補強しているのです。先週、我々が発見したのは、ロシアがリビアからスーダン、はるばるアフリカまでかき混ぜているということです。この全体像を見ると、エゼキエル 38, 39 章で描かれている通りです。面白いことに、「なぜイランがあなたがたの隣にあのような接続場を設けることが出来たのでしょうか？」とロシアに尋ねるなら、彼らは答えるでしょう。「我々はシリアではない。シリアは独立国家だ。シリアが別の独立国家を招いたのだ。我々が口出しすることではない。」と。面白くないですか？突然、彼らの口出しすることではなくなったのです。彼らは、自分たちが止めさせたいことはイランに対して止めるようにと言います。例えばアレッポで、ロシアはイランがそこに入って、アレッポの陥落を祝うことを認めませんでした。だから、ロシアは口出しできるのです。しかし、イスラエルに関しては、ロシアは目を背け、プーチンの傘下でイランのやりたいようにやらせています。ペルシャ湾新聞アルジャジーラがリークしたのは、最近、ヒズボラがレバノンにトンネルを造り、精密ロケットの地か製造工場を建設中。シリア軍事産業がそれを行っていると言います。もし、これらの工場がロケットを製造しているのなら、イスラエルはそれを破壊するでしょう。たとえそれが原因で戦争になるとしても、です。皆さん、理解しておいてください。イランとトルコがかき混ぜた結果、中東は現在とても面白い状況になっています。

一昨日、ツアー団体と一緒にレバノン国境まで行った時、イスラエル側には農場がずっと広がっているのが見え、レバノン側には何も見えませんでした。それから次に、イスラエルとシリアの国境へ行きました。そこでは爆音や爆発音が聞こえましたが、イスラエル側には農業地帯が見え、反対側には何もありません。

せんでした。聖書をただの本として見ることも出来るでしょう。しかし、私は日々聖書に生きているのです。神は、創世記 12 章でアブラハムに言われました。

3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。…

(創世記 12:3a)

これがはっきりと分かります。これは私にとっては現実なのです。これは、イスラエルに住む一人一人にとって、現実なのです。ですから、皆さんに理解しておいてほしいのは、なぜ人々は現在の情勢を真剣に受け止めないかという、それは彼らが聖書を読んでいないからです。正直言うと、他の様々な預言の教えを読めば読むほど、またいくつか私が教えたことへの人々の反応を読めば読むほど、——中にはとんでもないものもあるのです。——ともかく、彼らが御言葉を読んでいないことは明らかです。まさに、聖書を読んでいないのです。聖句を部分的に取り出して、そこから独自の話を作り上げています。皆さん、聖書を初めから終わりまで読むのに、かかる時間は 80 時間ほどです。それだけです。それだけです。問題は、人々が読むと言いながら読まないのです。難しすぎるとか、長すぎるとか言って。しかし、神の御言葉を読まなければ、あなたは弱くなるのです。膨大にある偽の教えや、偽の神学、偽の結論に対して非常に弱い。すると、しるしや何かを求めて、全体の意味から切り離してしまうのです。皆さん、はっきりと言っておきます。あなたが神の御言葉を知らない限り、あなたが神の御言葉を読まない限り、そしてあなたが神の御言葉を咀嚼しない限り、あなたには神の計画を理解することが出来ません。とてもシンプルかつ簡単な事です。とても残念なことです。聖書を信じるといっている者の多くが聖書を毎日読んでいないのは確実です。近いうちに聖書の通読計画を発表します。ところで、面白いのは、読むといっても一人で読む必要はないのです。事実、イエスの時代やそれ以前、モーセの時代、エズラやネヘミヤの時代、人々は聖書を持っていませんでした。ですから、公共の場で読まれていたのです。人々は座って、神の御言葉を聞きました。だから聖書にはこうあるのです。

17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。(ローマ 10:17)

面白いことに、信仰は「一人で読むことから始まる」とは書かれていません。といっても、「一人で読むな」と言っているわけではありませんよ。一人で読んでも良いのです。それでも、共に座り、共に御言葉を読むところに、とてつもなく素晴らしい利益(りえき)があるのです。一人が読み、皆が聞く。これを私たちが行うとき、サタンは恥じ入るのです。我々は御言葉を知り、神のご計画も知る。神の御言葉を知っていると、我々は備えも出来るし、偽の神学や偽の教えに動かされることはないのです。明らかに御言葉を知ってのみ、あなたは、悪魔の策略に対してしっかりと立つことが出来るのです。神のことばであるイエスは、神の御言葉を知っておられた。だからサタンが、聖書の一部を取りだし、意味を違えても、イエスを騙すことは出来なかったのです(マタイ 4:1~11)!!だから、どうか聖書の御言葉に留まっていてください。今はまさに終わりの日々です。今は正真正銘、ヨハネの言った最後の時なのです。御霊、つまり聖霊です。それと花嫁、これは私たちですね。我々は主に「来てください。」と言わなければなりません。黙示録にある通りです。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

そして、我々は毎日、一緒にヨシュア記 24 章の御言葉を宣言しなければなりません。

15 私と私の家とは、主に仕える。(ヨシュア記 24:15)

ということで、ヨーロッパで起こっていることの全てと、中東で起こっていることの全て、アメリカで起こっていることの全て、もちろんイスラエルも、これらの事から我々は、ますます御言葉に浸りたいと感じるべきです。我々は、この終わりの時代にあって、力の限り備えをするべきです。

今、新しいメッセージを用意しているのですが、一つは

「見張り役。なるか？ ならないか？」

これは信じる者の、見張り役としての義務についてです。我々御言葉を知る者が、見張り役として行動しなかった場合、その結果どうなるのか。だから、「見張り役になるか？ ならないか？ (To be? or not to be?)」

もうひとつは、

「ダマスコに対する宣告」(イザヤ書 17 章)

基本的には、最近の出来事をまとめて、いかにダマスカスが次の出来事となるか、イザヤ書 17:1 にある、ダマスカスに対する宣告、ダマスカスの破滅がどれほど近いのか、ほんの一瞬でこれが成就することについてです。

約二週間後に、南カリフォルニアで講演します。まずグレンデール、それからチノヒルズ、そしてイーストアナハイムです。その後イスラエルに戻り、5月にヨーロッパ、6月にはメキシコ、7月には日本、シンガポール、オーストラリア、8月にはテネシー、9月にはイギリス、10月にはミネソタで「時代を理解する」カンファレンスと、その後リバティー大学で行われる預言講座で講師の一人として参加します。11月にはカナダのバンクーバーとサンフランシスコ、そして12月には愛するクロアチアとセルビアに戻ります。やることがたくさんあります。時間はあまりありません。私の著書も出来上がりつつあり、来週あたり出版社と販売先を探します。どうか10月までに本が完成し、カンファレンスに間に合うようにお祈りください。

ご静聴くださり、ありがとうございます。物凄い時代です。御言葉に留まり、強くいてください。残された時間はとても短いことを知ってください。本当に短いです。全てを読むことが出来なくて、全員にお返事をする事が出来ず、申し訳ありません。残り時間は少ないといっても、それがいつなのかは私には分かりませんし、私も何時かは言いません。御子でさえ、その日その時はご存じないのですから。しかし、第一テサロニケ 5 章にも書かれている通り、私たちは現在の時代と季節を知っています。

6 ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。

(第一テサロニケ 5:6)

ここからも城壁の見張り役としての役目を認識させられます。

ということで、皆さんの国か、もしくはどこかでお会いするのを楽しみにしています。この間のツアーでは、Facebook やアプリ、ホームページで私の事を知った人々が、カナダ、イギリス、アメリカ、アフリカ、ヨーロッパから来てくださり、ミニストリーがどれだけ広がっているかを知って、感動しました。2018 年、皆さんをこちらでのバイブルスタディーツアーにご案内するのが楽しみです。もし、私たちがまだここにいるなら、ぜひここへ来て、それぞれの場所で聖書を学んでください。また、私の望みは、私たち全員がメッセージを拡散することによって、Behold Israel をさらに多くの国々に知らせたいのです。それに対して、私たちは皆さんの事も祝福したいと思っています。抽選の目的はシェアすることです。Behold Israel をインスタグラムやツイッターでお友達にシェアしてください。それから、ニュースレターもご登録ください。4 月 11 日に抽選を行い、当選者を発表します。一等当選者は 2018 年私と一緒にイスラエルツアーに無料でご招待します。二等は、Jan Markell の「時代を理解するカンファレンス」に航空券も含めてご招待します。そこで一緒にランチを食べながら、顔と顔を合わせて、預言について語り合しましょう。それから三等は、私たちが出版している DVD と、ヘブライ語—英語の聖書の詰め合わせです。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございます。重要なのは懸賞ではなく、メッセージを拡散して、神の御言葉を発信することです。さらにもっと多くの方が、神の御言葉と神のご計画に近づき、信者としての希望を持ってほしいのです。たくさんの方からインターネット上のメッセージを聴いてクリスチャンになった、というメッセージをいただいています。これは特権でもあり、また、大きな責任が伴います。もし私に責任が課されているとすれば、まず第一に教師として、私と私たち全員には、聖書を読むことが求められていると思います。聖書以上に大切なものなどありません。私たちはインスタグラムやフェイスブック、テレビや新聞雑誌なら何時間でも見ていられるのに、毎日聖書を読むことには、たったの 5 分も費やすことが出来ません。もし毎日一時間、半時間でも聖書を読めば、80 時間で聖書全部を読了することが出来るのです。ですから、どうか聖書を読んでください。ソーシャルメディアで、いかに聖書を読むか、その方法を投稿していきます。どのようにして、聖書をよりよく読んでいくか。敵は、我々が文盲であることを期待しています。我々が神の御言葉に関して、完全に無知であることを期待しているのです。敵にその機会を与えないようにしましょう。ベレヤ人のように、聞いたことは一つ一つ聖書の中でそれが正しいかどうかを確認しましょう（使徒の働き 17:11）。聖書を知る者になりましょう。聖書を知るということは、主を知るということです。神は御言葉を御名より上に置かれたと聖書にあります（詩篇 138:2）。つい先週、イスラエルアンヴェールド Vol. 2 の発売を開始しました。4 か所で教えています。インターネットでご購入可能です。イスラエルアンヴェールド Vol. 1 の各章もまだ投稿していますので、You Tube で無料でご覧になれます。You Tube の Behold Israel チャンネルをご登録ください。これらの動画が無料でご覧いただけ、また投稿の際にはお知らせが届きます。皆さん、ニュースレターもご登録ください。Behold Israel.org よりメールアドレスを登録していただくと、その週に起こったことのうち、皆さんが理解すべき事全てを毎週お届けしています。

ありがとうございます。

安息日ももう終わりですが、週の初め、エルサレムより

God bless you!

またインターネットで皆さんのコメントを見ることも楽しみですし、それだけでなく、さらに情報をお伝えすることも楽しみです。

Thank you, God bless you from Jerusalem!

Shalom!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジューAmir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO